


款	項	目	担当部局・課名					
2	1	1	総務部 総務課					
事業名			総務一般管理経費	主要事業NO, —				
事業区分			—					
事業区分			—					
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%	
事業 (経費) 内の主 な費目	①	委託料 業務委託料 (物件費)		19,616	19,290	0	326	98.0%
	②	負担金, 補助及び交付金 負担金 (補助費)		42,303	42,303	0	0	100.0%
	③	委託料 業務委託料 (物件費) ※新型コロナウイルス感染症対応分		56,600	49,565	0	7,035	88.0%
	④						0	
	⑤						0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		111,158	決算に関する説明書		
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		386,293	該当/頁	83,85,91	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		497,451	該当/頁	83,85,91	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)			庶務事務システムの仕様変更及び事業費精査により減額が生じたため					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源		
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他			
令和3年度 特定財源 内訳	497,451	42,801	2,498	0	0	452,152		
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金, 自衛官募集事務委託金ほか						
	県支出金	子ども・子育て支援交付金 (病児保育事業, 病児対応型) ほか						
	負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	通送業務, 例規システム管理業務等の委託及び庶務事務システムの導入により事務の効率化を図る。また, 顧問弁護士法律顧問業務を通じて市の課題解決を図る。 職員健康診断業務, 短期人間ドックの実施により職員の健康維持を図るとともに, 研修への参加等を通じて職員の意識改革と資質の向上をめざす。							
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (物件費) 職員健康診断業務委託料 7,958,302円 文書等配送業務委託料 4,606,800円 例規システム管理業務委託料 2,890,800円 顧問弁護士法律顧問業務委託料 1,420,000円 職員研修業務委託料 1,263,130円 等 負担金 (補助費) 短期人間ドック所属所負担金 10,624,400円 研修会等出席負担金 619,757円 等							
別添資料等 無 (事業一覧等)	委託料 (物件費) ※新型コロナウイルス感染症対応分 (繰越) 庶務事務システム導入業務委託料 49,564,900円							
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	職員の健康診断業務等の委託や短期人間ドック, ストレスチェック等により職員の健康維持を図った。引き続き, カウンセリング等を実施するとともに, 衛生委員会で状況を共有し, 議論を深め, 効果的な対策を検討していく。 経営層である部長級職員の組織マネジメント力及び経営層と現場をつなぐ要となる課長級職員の人材マネジメント力, 現場リーダーである係長級職員の業務マネジメント力向上に資する研修を行い, 組織活性化に向けた意識を強化した。また, 各業務に必要な知識を習得するための専門研修を通じて, 職員の事務レベルの向上を図った。これらにより, 安定的な行政サービスを行うとともに, コロナ禍における事業なども遂行することができた。 庶務事務システムを構築し, コロナ禍における職員間の接触機会の低減, 事務の効率化のための環境を整備した。また, 例規システムの管理, 通送業務等の委託により安定的な事務の遂行が継続できた。							

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	1	総務部 財政課			
事業名			財務会計システム電子決裁導入事業	主要事業NO, —		
事業区分		その他事業 (管理部門経費等)	第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」			
節名称			予算現額	決算額	繰越額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		46,400	46,398	0	
	②					
	③					
	④					
	⑤					
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		46,398	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		46,398	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	46,398	37,367	0	0	0	
	財源区分					
	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					
	県支出金					
負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	業務の効率化やペーパーレス化を推進するため, 財務会計システムに電子決裁機能を追加するもの。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	委託料 (①業務委託料 (物件費)) 【R2繰越明許費補正】 (業務内容内訳) ①サーバー 10,051,558円 (機器更新 8,112,599円, 電子決裁 1,938,959円) ②パッケージ 8,312,942円 (機器更新 6,806,800円, 電子決裁 1,506,142円) ③SE費用 28,033,500円 (機器更新 16,417,500円, 電子決裁 11,616,000円)					
	別添資料等 無 (事業一覧等)					
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	・文書の物理的な移動がなくなるため, 迅速な意思決定やテレワークの対応が可能となり, 業務のスピードアップと事務効率の軽減を図った。 ・紙などの消耗品購入コスト, 印刷コスト, 文書のファイリングなどの作業や保管スペースの削減につながる環境整備を図った。					

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	1	総務部・財産管理課			
事業名			行政デジタル化事業（会議室音響設備等整備）	主要事業NO,		
事業区分		新型コロナウイルス感染症対応事業	第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」			
節名称			予算現額	決算額	繰越額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 工事請負費（①工事請負費）		327	275	0	
	② 備品購入費（①庁用器具費）		7,273	3,055	0	
	③				0	
	④				0	
	⑤				0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥（①～⑤の計） →		3,330	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	臨時会 補正		⑧（⑥+⑦）事業決算合計額 →		3,330	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）		事業内容の精査による不用額				
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	3,330	2,135	0	0	0	1,195
	財源区分					
	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					
	県支出金					
負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	コロナ禍における円滑な会議運営を図るため、音響機器や大型液晶テレビの整備及びオンライン会議に対応するためカメラ付きスピーカーマイク等の備品を整備する。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○事業概要 事業費 3,330,470円 (単位：円)					
	整備内容	内 訳		決算額		
	本庁舎会議室用音響機器整備	音響機器×4台		1,155,000		
	本庁舎会議室用大型液晶テレビ整備	大型液晶テレビ×7台		1,771,110		
	本庁舎会議室オンライン会議用備品整備	カメラ付きマイクスピーカー×2個 スピーカーマイク×2個 ビデオカメラ×1個 ライブストリーミングBOX×1個		404,360		
別添資料等 無 (事業一覧等)						
成果/評価 * 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか	大型液晶テレビや音響設備などの備品を整備することで、対面会議からオンライン会議の推進と会議運営の円滑化を図ることができた。また、庁内の説明会や県・委託先など外部との会議において、skype, zoom等によるオンライン会議が推進され、接触機会の低減や旅費等の経費の節減も図られている。					

款	項	目	担当部局・課名				
2	1	3	総務部・財産管理課				
事業名			公共施設改修・解体事業	主要事業NO,			
事業区分	継続事業		第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
節名称			予算現額	決算額			
事業 (経費) 内の主 な費目	① 需用費 (⑥修繕料)		487	486			
	② 委託料 (①業務委託料 (物件費))		367	366			
	③ 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)		7,218	7,217			
	④ 工事請負費 (①工事請負費)		74,338	43,240			
	⑤			31,097			
補正 区分	6月補正	12月補正 ○	⑥ (①~⑤の計) → 51,309				
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし "0"を挿入 → 0				
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 → 51,309				
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)		特定財源内訳			一般財源	
			国庫支出金	県支出金	市債		負担金等その他
	51,309		0	0	0	0	51,309
	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
県支出金							
負担金等その他							
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	当初の行政目的による使用を終えた施設や老朽施設について, 維持管理費の削減や景観及び生活環境の改善を図るため, 譲渡・解体等を実施し施設を削減する。						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○公共施設改修・解体事業 事業費 51,308,827円 (単位：円)						
	整理区分	削減施設数	科目	決算額			
	解体	11施設	委託料	6,600,000			
			工事請負費	25,916,000			
	譲渡	7施設	需用費	486,200			
委託料			982,672				
工事請負費			17,323,955				
※令和3年度削減施設一覧は別紙資料のとおり。 ※決算額には翌年度以降の解体・譲渡等に係る調査設計等の支出を含む。							
○利用予定のない施設等の売却 (単位：円)							
別添資料等 有 (事業一覧等)	売却物件数	売却物件		決算額			
	13件	甲奴診療所医師住宅, グリーンビューあわしま, 吉舎敷地寿会館		57,724,729			
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	「三次市公共施設等総合管理計画」を推進し, 施設利用者及び施設関係者と施設所管課 (支所) が地域の将来や施設の方向性を確認しながら取り組み, 施設の削減を行いました。 削減目標：783施設×1/3=261施設 削減施設：153施設 (+18施設) 進捗率：58.6% (+6.9%) また, 利用予定のない市有財産等については, 民間での有効活用や財源の確保を図るために売却を進め, 57,725千円の財源を確保することができました。						





旧戸内老人集会所楽寿荘跡地





旧七日市下コミュニティ集会所跡地

款	項	目	担当部局・課名		
2	1	3	総務部・財産管理課・作木支所・三良坂支所		
事業名			支所耐震化等事業（作木支所・三良坂支所）	主要事業NO,	
事業区分	継続事業		第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」		
節名称			予算現額	決算額	
事業(経費)内の主な費目			繰越額	不用額	
① 手数料			68	68	
② 委託料（①業務委託料（物件費））			979	556	
③ 委託料（④調査測量設計監理等委託料）			19,348	10,715	
④ 工事請負費（①工事請負費）			347,100	164,594	
⑤				0	
補正区分	6月補正	○	12月補正		
	9月補正		3月補正	○	
	臨時会 補正				
⑥（①～⑤の計）			175,933	決算に関する説明書	
⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入			0	該当/頁 92, 93	
⑧（⑥+⑦）事業決算合計額			175,933	該当/頁	
100万円以上の不用額が生じた理由（該当のみ）					
歳入に関する項目	決算額(⑧)	特定財源内訳			一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	
令和3年度特定財源内訳	175,933	17,879	0	140,900	17,154
財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称			
国庫支出金		社会資本整備総合交付金（耐震化事業）			
県支出金					
負担金等その他					
事業内容及びめざした目的（具体的に）	<p>◆作木支所・作木山村開発センター：施設の耐震性を確保し、行政機能を維持するとともに集会機能、災害時の避難所機能、子育て支援に関する機能の向上及び浄化槽改修により維持管理費の低減を図る。</p> <p>◆三良坂支所：施設の耐震性を確保し、放課後児童クラブや地域子育て支援センターなどの近隣施設との集約化により市民の利便性の向上や維持管理費の低減を図る。</p>				
事業実績（詳細説明）	<p>◆作木支所・作木山村開発センター</p> <p>1 事業実績 4,378,000円（財源：合併特例債2,000千円、過疎対策事業債2,200千円） ・実施設計 4,378,000円</p> <p>2 設計内容 ・安全性向上：耐震改修、壁タイル剥離防止(ロビー他)、屋上防水処理(雨漏り対策)、壁タイル剥離防止 ・集約・機能向上：1階への施設利用集約、会議室機能増(2室)、基幹避難所機能増(和2室) 放課後子ども教室(夏期)、トイレ改修(洋式化・自動水栓化)、文書保管庫増（2箇所） ・後年度の維持管理費の低減：浄化槽改修(320人槽単独→40人槽合併)、照明のLED化</p> <p>◆三良坂支所</p> <p>1 事業実績 171,554,260円（財源：社会資本整備総合交付金17,879千円、合併特例債136,700千円） ・手数料：建築確認申請 68,000円 ・委託料：実施設計 6,337,100円 業務委託 555,500円（仮庁舎備品等移転、金庫処分、仮庁舎看板作成） ・工事請負費：支所耐震等改修 161,810,000円 仮庁舎改修 2,783,660円</p> <p>2 工事内容 ・安全性向上：耐震改修 ・集約・機能向上：放課後児童クラブ、地域子育て支援センター、広域商工会を集約 ・後年度の維持管理費の低減：集約化による管理床面積の減、照明のLED化、空調設備更新</p>				
別添資料等	無				
成果/評価	<p>* 事業を執行したことにより、どのような成果や効果をもたらしたのか</p> <p>◆作木支所：作木支所庁舎・作木山村開発センターの耐震性を確保することで安全性が向上し、内部改修することより集会機能や災害時の避難所機能が向上するとともに、後年度の施設維持管理費の低減が図られる。</p> <p>◆三良坂支所：三良坂支所庁舎の耐震性を確保することで安全性が向上し、放課後児童クラブや地域子育て支援センター、広域商工会などの近隣施設との集約化により利便性の向上及び後年度の施設維持管理費の低減が図られる。また、商店街に近い支所へ各種施設を集約することで、商店街の活性化にもつながることが期待できる。</p>				

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	3	総務部・財産管理課, 布野支所			
事業名			布野支所空調設備等改修事業	主要事業NO,		
事業区分		継続事業	第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」			
節名称				予算現額	決算額	
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)			1,496	1,496	
	② 工事請負費 (①工事請負費)			46,006	46,005	
	③					
	④					
	⑤					
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		47,501	
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		47,501	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	47,501	0	0	45,000	0	2,501
	財源区分					
	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金					
県支出金						
負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	布野支所の空調設備老朽化による設備改修や窓口ロビー等の照明LED化, 事務室フロアへの間仕切り設置, トイレ洋式化等を行い, 来庁者等の利便性向上を図る。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○事業実績 (単位：円)					
	科目	事業内容			決算額	
	委託料	工事監理			1,496,000	
工事請負費	空調設備改修, ロビー・会議室照明LED化, フロア間仕切り設置, トイレ洋式化, 事務スペースOAフロア化 など			45,936,000		
	相談室間仕切り設置に伴う火災報知器増設			69,300		
別添資料等 無 (事業一覧等)						
	灯油燃料の全館空調から電気式個別エアコンへの改修		冷暖房効率向上のための間仕切り設置			
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	布野支所庁舎の空調設備を灯油燃料式全館空調から個別エアコンへの改修したことや, 事務室とその他スペースへの間仕切り設置により, 冷暖房効率の向上が図られる。また, 窓口ロビー等の照明のLED化やトイレ洋式化・トイレ手洗い自動水栓化により感染症対策や来庁者の利便性の向上を図ることができた。					

款	項	目	担当部局・課名			
2	1	3	総務部・財産管理課			
事業名			公共施設自動水栓整備事業	主要事業NO,		
事業区分		新型コロナウイルス感染症対応事業	第5節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」			
節名称			予算現額	決算額	繰越額	
事業 (経費) 内の主 な費目	①	工事請負費 (①工事請負費)	15,000	12,290	0	
	②				0	
	③				0	
	④				0	
	⑤				0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		12,290	
	9月補正	3月補正	⑦その他の節の決算額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		12,290	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		入札等の結果予定した金額を下回る金額で契約したこと及び実施箇所の精査等による不用額				
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	12,290	11,183	0	0	0	1,107
	財源区分					
	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金					
県支出金						
負担金等その他						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	不特定多数の利用が多い公共施設における新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策を推進するため, 給水栓を低接触型の自動水栓装置等に改修する。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○事業概要					
	事業費 12,290,438円 (36施設)				(単位：円)	
	施設分類	施設数	施設名		決算額	
	コミュニティセンター等	27施設	・コミュニティセンター (和田, 田幸, 神杉, 川西, 川地, 粟屋, 河内, 青河, 三良坂, 灰塚, 仁賀, 吉舎, 安田, 敷地, 八幡, 上山, 敷名, 板木, 下板木, 上川, 小童) ・自治交流センター (粟屋西, 作木上地区, 作木下地区, 三良坂田利, 吉舎徳市) ・宇賀交流拠点施設		5,149,238	
	福祉保健センター	1施設	三次市福祉保健センター		1,300,200	
公園	5施設	みよし運動公園, 三次本通り小公園, 尾関山公園, 出会いの広場, 天神広場		4,268,000		
別添資料等	庁舎	3施設	本庁舎, 君田支所, 三和支所		1,573,000	
無 (事業一覧等)						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	不特定多数の利用が多い公共施設の給水栓を低接触型の自動水栓装置等に改修することで, 新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策を図ることができた。					

款	項	目	担当部局・課名		総務部財産管理課		
6	1	6	事業名		地籍調査経費	主要事業NO,	
事業区分			継続事業		第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」		
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (①業務委託料 (物件費))		149,034	28,429	120,604	1	19.0%
	②					0	
	③					0	
	④					0	
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		28,429	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正 ○	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		13,948	該当/頁	214
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		42,377	該当/頁	215
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)							
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和3年度 特定財源 内訳	42,377	0	21,018	0	122	21,237	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金						
	県支出金	地籍調査事業費負担金					
	負担金等その他	地籍調査成果交付手数料					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	地籍調査事業は、毎筆の土地について、土地所有者等の立会を求め、所在・地番・地目・境界を調査し、境界の位置並びに地積に関する測量を行い、その成果を取りまとめた簿冊(地籍簿)と図面(地籍図)を作成するものです。境界をめぐるトラブル防止や課税の適正化・公平化を図ることが主な目的です。						
事業実績	区分	調査面積	執行額：円		実施区域		
	面積測定・閲覧 2地区	2.98 km ²	5,126,000		吉舎町三玉の一部・上志和地町の一部		
	地籍測量 1地区	0.87 km ²	15,400,000		粟屋町の一部		
	一筆地調査 1地区	0.41 km ²	5,390,000		粟屋町の一部		
	地図訂正 2地区		2,513,159		三原町・君田町藤兼		
(詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	令和2年度末進捗率 68.5% 令和3年度末進捗率 68.7% いずれも第7次十箇年計画748.05平方キロメートルに対する進捗率です。 三次市の面積778.18平方キロメートルとの差異は、国有林が除外対象とされているためです。						
別添資料等	無						
(事業一覧等)	 						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	新規の1地区(粟屋町0.41平方キロメートル)の調査に着手し、進捗率は本市調査対象面積の68.7%になりました。						

款	項	目	担当部局・課名		総務部・財産管理課	
8	5	2	事業名		市営住宅等改修事業	主要事業NO,
事業区分		継続事業		第4節 美しい風景を後代に伝える「環境づくり」		
節名称				予算現額	決算額	繰越額
事業 (経費) 内の主 な費目	① 委託料 (④調査測量設計監理等委託料)			349	349	0
	② 工事請負費 (①工事請負費)			15,623	15,622	0
	③					0
	④					0
	⑤					0
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		15,971	決算に関する説明書
	9月補正	3月補正 ○	⑦ その他の節の決算額 * 該当なし "0" を挿入 →		0	該当/頁 250,251
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		15,971	該当/頁 252,253
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)						
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和3年度 特定財源 内訳	15,971	7,186	0	6,500	2,285	0
	財源区分					
	補助金・負担金・交付金等の名称					
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金 (地域住宅計画事業)				
	県支出金					
負担金等その他	市営住宅使用料					
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	安全で快適な住まいを供給するため、老朽化した市営住宅等を計画的に改修し、施設の長寿命化等を図る。					
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	○施設整備概要					
	寺戸第二定住促進住宅屋上防水改修事業 (単位：円)					
	科目	事業内容	決算額			【住宅の位置図】 
	委託料	工事監理	348,700			
	工事請負費	屋上防水工事	15,622,200			
	○寺戸第二定住促進住宅の概要					
	建築年	昭和60年 (築36年)				【改修した屋上防水】 
	戸数	80戸				
	入居戸数	33戸				
	入居率	41%				
	間取	3DK				
別添資料等	令和4年3月31日時点					
無 (事業一覧等)						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより、どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	安全で快適な住宅環境を提供するとともに、長寿命化による更新コストの削減や事業量の平準化が図られた。					

款	項	目	担当部局・課名				
12	1	1,2	総務部 財政課				
事業名			元金及び利子	主要事業NO, —			
事業区分		その他事業 (管理部門経費等)	第 5 節 参加と行動による, つながる「しくみづくり」				
節名称			予算現額	決算額	繰越額	不用額	執行率%
事業 (経費) 内の主 な費目	① 償還金, 利子及び割引料 (①長期債償還金)		5,360,606	5,360,105	0	501	100.0%
	② 償還金, 利子及び割引料 (②長期債繰上償還金)		1,000,416	1,000,416	0	0	100.0%
	③ 償還金, 利子及び割引料 (③長期債利子)		96,462	84,503	0	11,959	88.0%
	④ 償還金, 利子及び割引料 (④一時借入金)		450	290	0	160	64.0%
	⑤					0	
補正 区分	6月補正	12月補正	⑥ (①~⑤の計) →		6,445,314	決算に関する説明書	
	9月補正	3月補正 ○	⑦その他の節の決算額 * 該当なし" 0 "を挿入 →		0	該当/頁 302	
	臨時会 補正		⑧ (⑥+⑦) 事業決算合計額 →		6,445,314	該当/頁 303	
100万円以上の不用額が生じた理由 (該当のみ)		借入及び利率の見直しの際に設定された利率が当初想定していた利率よりも低かったため					
歳入に関する 項目	決算額 (⑧)	特定財源内訳				一般財源	
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他		
令和3年度 特定財源 内訳	6,445,314	0	700	0	149,550	6,295,064	
	財源区分						
	補助金・負担金・交付金等の名称						
	国庫支出金						
	県支出金	森林整備活性化資金制度利子補給金補助金					
負担金等その他	市営住宅使用料 外 3 件						
事業内容及び めざした目的 (具体的に)	・建設事業等に充当するために発行した市債の元金償還金及び利子 ・一時借入金の利子						
事業実績 (詳細説明) 事業一覧表/状 況写真/図面等	償還金, 利子及び割引料 (①長期債償還金) 5,360,105,258円						
	うち 過疎対策事業債 2,631,802,871円						
	辺地対策事業債 134,940,866円						
	合併特例事業債 571,630,515円						
	臨時財政対策債 1,262,516,701円						
償還金, 利子及び割引料 (②長期債繰上償還金) 1,000,415,603円							
うち 辺地対策事業債 9,800,000円							
合併特例事業債 338,451,756円							
臨時財政対策債 526,868,349円							
償還金, 利子及び割引料 (③長期債利子) 84,503,970円							
うち 過疎対策事業債 7,074,699円							
辺地対策事業債 111,636円							
別添資料等	合併特例事業債 16,932,741円						
無	臨時財政対策債 16,733,692円						
(事業一覧等)	償還金, 利子及び割引料 (④一時借入金) 290,433円						
成果/評価 * 事業を執行した ことにより, どのよ うな成果や効果をも たらしたのか	令和3年度は1,000,415,603円の繰上償還を行い, 後年度の利子負担を18,108,638円軽減しました。						